

女性の視点からの 防災対策について

五十嵐 恵千子

(問) ①女性の意見を普段の防災対策や地域防災計画などに反映できるようにすべきでは。

②避難所運営ゲームを取り入れ、自主防災組織等と連携した防災訓練を実施すべきでは。

③災害時の緊急物資の中に、女性や子ども、高齢者、障がい者に配慮した物資の備蓄を。

④被災者支援システムを活用した災害時要援護者リストの作成・活用について。

⑤防災教育の現状と各学校へ災害時に地域の窓口となる防災担当職員の配置を。

(答)市長 ①現在、吉川市防災会議の構成員はすべてが男性。今後計画の見直しを進めるにあたり、どのような面で女性の視点が必要か検証します。

②この避難所運営ゲームも取り組めるよう検討したい。

③現在、障がい者用の組み立て式トイレや乳児用の粉ミルクを各避難所等に備蓄。

今年度は子どもや高齢者のために、2リットルのペット

ボトル保存水を購入。今後も現状を踏まえ、物資の備蓄に努めていきたい。

④被災者支援システムの中で有効に活用できるのか検討。

⑤地域の特性や学校の実態等を踏まえ、防災教育を充実させていきます。災害時、学校が避難所としての機能を果たせよう、連携協力をします。

◆子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン無料接種の継続を

(問) 年度末までの国の補助事業が期限切れになった場合は。

(答)市長 引き続き実施します。

住宅リフォームポイント 制度の導入を

小野 潔

(問) 住宅リフォームにより一定のポイントを付与し、そのポイントを吉川市内で

使えるような商品券に代え、広く地域経済の活性化に役立てる「住宅リフォームポイント制度」を、臨時

国会の第3次補正予算で1千446億円を計上し復活した「住宅エコポイント制

度」と連動させ導入しては。

(答)市長 経費の面、運用システム等課題が多いため研究してまいります。

◆駅南の路線バス道路の整備

(問) 「駅南地域の路線バス経路の道路損傷状況等の点検、整備を」特に市道2-689号線中曾根2-17メートル

市道2-365号線木売2-15-2-20の区間。市民よりひび割れ凸凹により振動が激しい為補修をとの声が多く寄せられている。

(答)都市建設部長 週2回の道路パトロールにて点検している。ご指摘の箇所を含め石綿管敷設工事に合わせて修繕したい。

◆自転車通学の中学生にLED点滅バルブキャップの配布を

(問) 警察庁では平成23年10月自転車交通秩序の総合対策をまとめ「歩道幅2メートル以上」で認めてきた自転車の通行を「3メートル以上」に見直し、原則自転車は車道を走らせるとした。夜間車道

を走る中学生や一般の方に事故防止を図り、マナー向上の為にLED点滅バルブキャップを配布しては。

(答)教育部長・市民生活部長 事故防止等を図る為検討する。



自転車の安全走行対策は…

県内30自治体が実施の高齢者肺炎球菌ワクチン助成を

小林 昭子

(問) 年間1万2千人が肺炎で死亡しており死亡原因の第4位、その95%が65歳以上の高齢者です。肺炎から高齢者を守るワクチン接種助成を。

(答)市長 国は予防接種部会で成人肺炎球菌等7種のワクチン定期接種に向けた議論をしているので動向を注視する。

◆小松川工業専用地域問題

(問) 産廃企業の申請で市環境条例に基づき事業者の説明会が開かれたが市民の理解は得られないまま閉会した。「指導の範疇」とする県条例では公害防止は徹底させることはできない。歯止めができる法整備を関係機関に働きかけを。

(答)市長 県に対し、産業廃棄物処理業は「建屋内で行なうことを条件に許可するよう」産業廃棄物処理業の許可に関する手続きを定める要領の改正を求める要望書を提出した。

◆放射線量測定活動から

(問) 市内でも高い地域、民家では雨どいの下、市道U字溝蓋格子部分は放射線量が高い。野菜の放射線量測定希望が強い。測定をすすめ除染を。

(答)市長 子ども達の利用する施設、通学路、側溝等23年度内を目標に、24年4月以降第2次計画を策定する。

12月下旬、食品測定可能な機器の貸与が決定し運用について検討している。

◆二ツ沼生活道路の整備を

(答)都市建設部長 雨水が溜まらない様道路補修します。